



スクールライフ

令和 3 年 9 月 3 日
内灘中学校長 酒井 紀幸
生徒 指導 部

“ありがとう”の反対語は？



30度を超える猛(酷)暑や連日の熱中症アラートの発令、一方各地で記録的短時間大雨情報が発表されるなど自然の猛威に翻弄させられた夏休みでした。

スポーツの世界では、東京オリンピック・パラリンピック2020が開催されスポーツを通して、勝利した選手への賞賛や全選手のスポーツに打ち込む美学に感動した場面がたくさんあったのではないのでしょうか。柔道73キロ級金メダル、五輪2連覇の大野将平選手が、優勝インタビューで「賛否両論あることは理解している。我々アスリートの姿を見て、心が動く瞬間があればと思います」と語った言葉に心打たれた人も多かったと思います。



本校の選手も野球部・サッカー部の県優勝をはじめ、浅田峻輔さん(柔道)・荒島千花さん(卓球)が全国中学校体育大会に出場するという活躍を見せてくれました。また、どの選手もオリンピック選手に負けないくらいの熱い気持ちで粘り強く、最高のパフォーマンスを見せてくれていることに心が熱くなりました。

スポーツ選手のインタビューを聞くと家族・チームメイト・コーチなどまわりの多くの人々に感謝のメッセージを伝えています。また、オーストラリア選手村には日本への感謝の懸垂幕が掲げられ話題を呼んでいます。

ところで「ありがとう」の反対語を知っていますか？

「ありがとう」 ← (反対語) → 「当たり前」 だそうです。

例えば、当たり前だと思っている以下のことが無くなったことを想像すると、有り難いことだと改めて気付くのではないのでしょうか。

- ・家族で顔を合わせる事
- ・毎朝、目をさませること
- ・食事(給食)をいただけること
- ・学校に登校できること(友達と会えること)
- ・息ができること
- ・学べること

「for me(自分のため)」だけでなく「for you(誰かのために)」という他人への感謝の気持ちを示しながら生活してくれることを願っています。



「オーストラリア選手村 日本への感謝懸垂幕」

NHK：画像提供 Australian Olympic Committee

【9月の生活目標について】

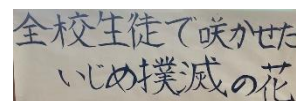
9月の生活目標は、「スタートの時間を意識しよう」「体育祭を成功させよう」です。

2学期のスタートは、夏休みのリズムが抜けきらずに、時間が遅れがちになります。落ち着いた学校生活を送るために、スタートの時間を意識して過ごしてほしいと思います。

【いじめを見逃さない風通しのよい学校づくり】

いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、より根本的ないじめ問題を克服するためには、すべての生徒を対象とした「いじめの未然防止」の観点が重要であります。本校では、すべての生徒が安心して学ぶことができ、様々な活動に取り組むことができるよう、年間を通じて学校生活の様々な場面で、いじめを根絶するための取組を行っております。

具体的には、生徒総会において生徒が主体となって「いじめ撲滅」に向けて考えました。まず「いじめの未然防止のためにクラスで取り組むこと」を各クラスで決め、その目標に向けての個人の取組をいじめ撲滅の花として生徒ホールに掲示しました。さらに、全校生徒を対象とした意識調査を実施し、それらについて検証を行いました。2学期以降もいじめの根絶に向けての取組を継続し、「わかる授業」「今までできなかったことが、できたと感じられる授業」の推進、全校生徒が楽しいと思える学校づくりにつとめてまいりたいと思います。



【北信越大会・北陸大会・全国大会で内灘中学校が大健闘！】

8月3日～5日にかけて富山県を会場として、北信越中学校総合競技大会が行われました。本校からは、野球部、サッカー部、男子柔道部(個人)、女子卓球部(個人)、男女水泳部の選手が出場しました。さらに、吹奏楽部が8月7日に金沢歌劇座にて北陸吹奏楽コンクールに石川県代表として出場しました。

また、男子柔道部(個人)は群馬県、女子卓球部(個人)は栃木県でそれぞれ行われた全国大会へ出場し、石川県(北信越)の代表として奮闘しました。出場した選手は貴重な経験を積むことができたと思います。保護者の皆様の温かい応援に感謝いたします。

多くの部活動が夏休みから1・2年生のメンバーで活動してきました。今月、河北郡市新人大会が18日(土)・19日(日)・20日(月)に行われます。今年の猛暑の夏休みの中で鍛えた力を存分に発揮し、優勝目指して頑張ってくれることを期待しています！

【体育祭について】

今年度は9月29日(水)に体育祭を行います。3年生のリーダーを中心に、8月下旬から応援合戦の振付等をはじめ、準備に取りかかっています。また、各専門委員会がそれぞれの競技についての準備を始めています。

【新型コロナワクチン予防接種について】

内灘町も12歳以上の児童生徒が新型コロナワクチンの予防接種を受けることができるようになりました。新型コロナワクチン予防接種をした場合は、翌日の運動を控えてください。したがって、体育の授業は見学、部活動も欠席または見学することになります。また、副反応が出た場合は学校に登校しなくても欠席扱いとはなりません。今後も感染症予防対策を徹底していくよう、学校でも指導していきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。(※今後の感染症予防対策についての詳細は臨時号に記載)

【文部科学省からのメッセージ】

コロナ禍において、児童生徒等の自殺者数が大きく増加しています。また、長期休業明けには、児童生徒の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子供たちが増えることも考えられます。

- ・これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・不安やイライラが増し、落ち着きがなくなる
- ・投げやりな態度が目立つ
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる

保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、こうした子供の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、子供たちの不安や悩みの声に耳を傾けていただくようお願いいたします。

電話やメール、ネット等の相談窓口

0120-0-78310 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和三年八月 文部科学大臣 萩生田 光一